

MEIDEN

Quality connecting the next

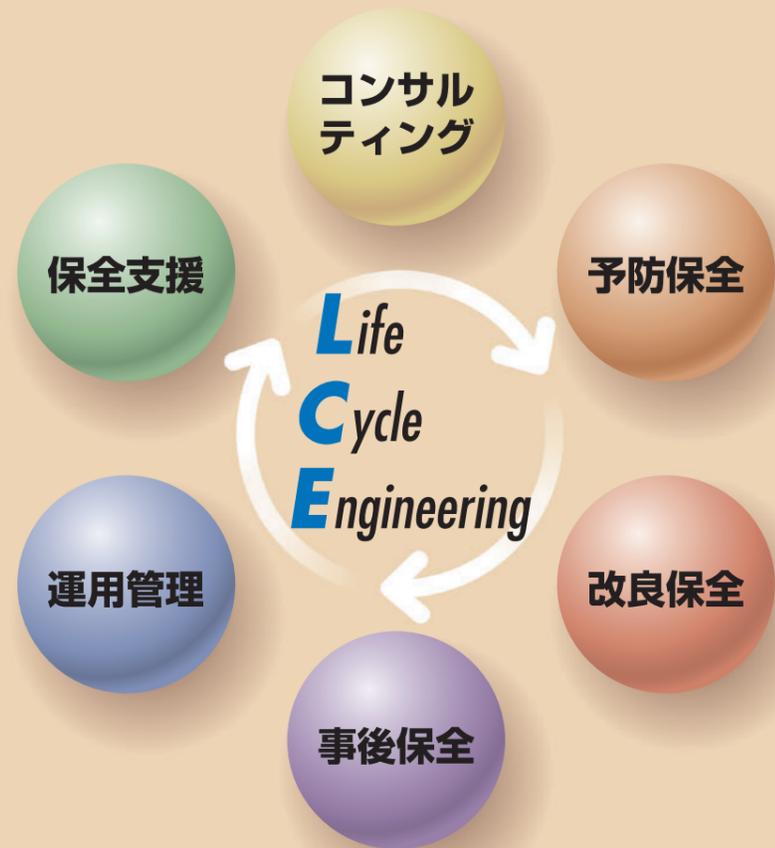
発電設備 メンテナンスのおすすめ

お客様の立場に立って
最適な保全計画を立案します。



私たち明電舎は お客様の発電設備を 健全な状態に保ちます。

設備のライフサイクルエンジニアリングを提案します。
メンテナンスのプロ集団として環境調査・設備診断によるコンサルティング・
予防保全を提案します。
また、24時間サポートにより事後保全・運用管理・保全支援を通してお客様
へ信頼を提供いたします。



1. メンテナンスの必要性

ご存知ですか？

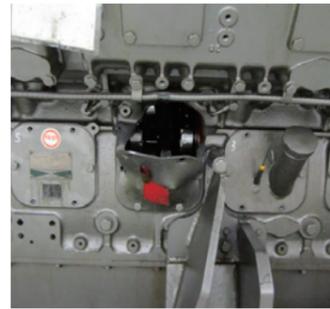
法律で下記の定期点検が義務付けられています。

非常用発電設備は、停電時の電力供給だけでなく、災害時の人命保護の役割も担っています。

	対象物	点検内容	点検			
			点検者	期間	報告	基準
消 防 法	特定防火対象物 で延べ面積が 1000㎡以上のもの	機器点検 総合点検	・消防設備点 検資格者 ・消防設備士	6か月(機器点検) 及び 1年(総合点検)	消防機関： 1年に1回 (特定防火対象物)	点検基準 (告示) 点検要領 (通知)
				消防機関： 3年に1回 (上記以外の 防火対象物)		
	地下タンク	気密検査	危険物取扱者 危険物施設保安員	1年に1回 又は 3年に1回	不合格時 関係機関へ連絡	消防法に規定
電 気 事 業 法	電気工作物 すべて	日常巡視 日常点検 定期点検 精密点検	関係者	保安規程による	-	保安規程
建 築 基 準 法	特定行政庁が 指定するもの	外観検査 性能検査	建築設備検査 資格者	特定行政庁が 定める期間 (おおむね6か月 から1年に1回)	特定行政庁 (おおむね6か月 から1年に1回)	建築設備定期 検査業務基準書 (建築指導課監修)



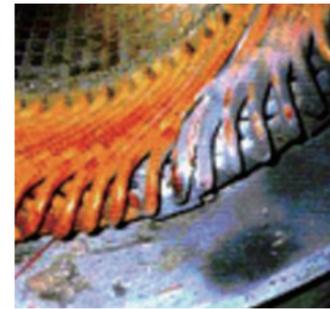
2. 事故及び事故要因の事例



シリンダーブロック破損



エンジン内部部品折損



発電機固定子巻線絶縁破壊による焼損



汚損によるAVR制御部の焼損



絶縁劣化によるPTの焼損



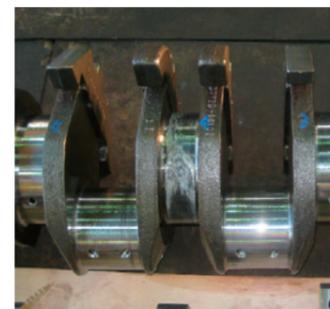
冷却水槽内部の腐食



燃料タンク内部の汚れ



冷却水混入による潤滑油の乳化

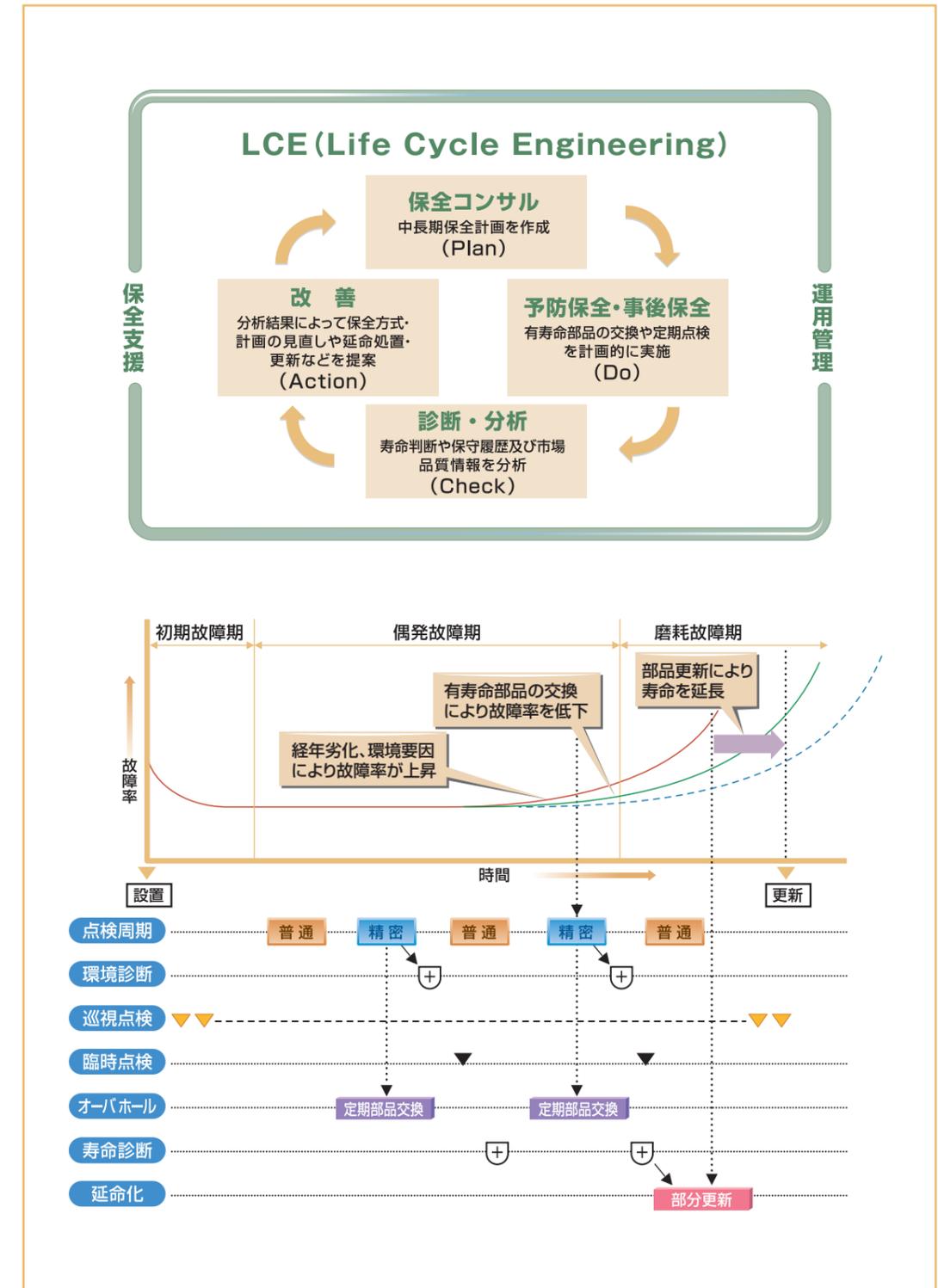


エンジンオイル劣化による主軸受焼損

3. メンテナンスのプロセス

経年劣化・環境要因により故障率が上昇していきます。

ライフサイクル全期間にわたり、次の主要プロセスを繰り返すことにより、設備の長期安定稼働が可能になります。



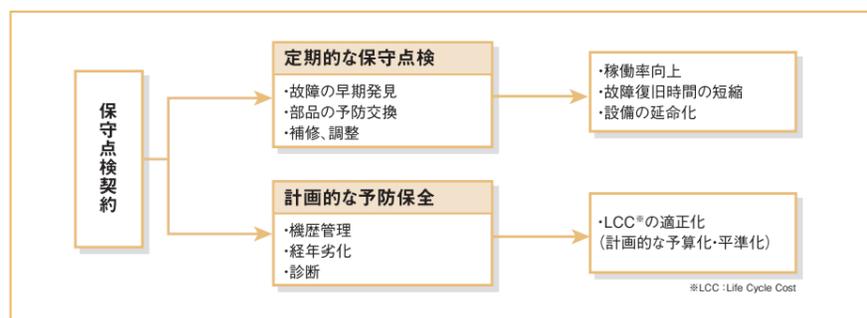
4.メンテナンス契約のおすすめ

設備の長期安定運用のために

当社では、長期間、故障無く安全にご使用いただくために、お客様に代わって保守点検業務をお引き受けしています。

保守点検契約のメリット

- (1) 確実な点検と経年劣化を考えた適切な部品交換ができます。
- (2) 劣化兆候の早期発見と故障の事前予防処置をします。
- (3) お客様のBCP(事業継続計画)のお手伝いができます。
- (4) 専門技術者が改善・改良などのご提案と技術のお手伝いをします。



保守点検の内容

分類	内容		目的	周期		
点検	消防法点検 ^{※1}	機器点検	作動・外観・機能の点検を行う。	消防法に基づく法定点検	1回/6ヶ月	
		総合点検	作動・外観・機能・総合の点検を行う。	消防法に基づく法定点検	1回/1年	
	普通点検	外観・目視・清掃点検を主に機能確認を行う。		基準・判定値を満たし、異常無く起動するかの点検・検査	1回/6ヶ月～3年	
	原動機	ガスタービン	内視鏡検査	通常見る事が出来ない内部の確認	1回/1～3年	
	精密点検(細密)	外観・目視・清掃点検に加えて、機器単体の特性を測定し、総合的に細部まで機能確認を行う。		遮断器・制御機器・タイマー等単体の製品に関しても基準・判定値を満たしているかの点検・検査	1回/3～6年	
	臨時点検	各種点検時に、異常が発見された場合や事故発生時に回復修復を行う。		緊急修理・部品交換	随時	
整備	燃料地下タンク点検	法令点検(微加圧微減圧試験) ^{※3}	漏洩検査		1回/1年又は3年	
		内部点検、清掃、肉厚測定	内部補修及び予備保全		1回/6～9年	
	制御盤	部品交換	耐用年数超過の部品交換		次頁参照	
		発電機	絶縁診断 ^{※2}	発電機本体の絶縁耐力診断		10年超過
	原動機	ディーゼルエンジン	工場持ち込み整備	工場内で分解整備・巻線の巻替		20年超過
			トップオーバーホール	シリンダーヘッド開放し内部確認		1回/4～6年
		フルオーバーホール	分解可能箇所すべての内部確認		1回/8～10年	
		ガスタービン	3年整備	耐用年数3年の部品交換		1回/3～4年
			6年整備	耐用年数3・6年の部品交換		1回/6～7年
			12年整備	耐用年数3・6・12年の部品交換		1回/12～13年
オーバーホール	工場に持ち帰り分解整備			1回/15～18年		
補機	燃料槽	清掃・ケレン・塗装	錆の補修・不純物の除去		1回/6～10年	
	冷却水槽	清掃・ケレン・塗装	錆の補修・不純物の除去		1回/6～10年	
	燃料地下タンク	清掃・ケレン・塗装	錆の補修・不純物の除去		1回/10～15年	

※1 消防法点検とは、消防法第17条の3の3による。
 ※2 絶縁診断の対象は高圧以上。
 ※3 地下タンクの構造及び経過年数により点検周期が異なります。

非常用発電設備電気部品交換周期表

区分	部品名	交換年数	
盤関係部品	ヒューズ	8～10年	
	タイマー	10年	
	補助継電器	10年	
	ボルテージセンサ	7年	
	マグネットスイッチ	12年	
	各種スイッチ類	10年	
	指示計器(変換器)	10年	
	VTT・CTT	10年	
	MCCB	15年	
	計器用変成器	15年	
	自動電圧調整器(AVR) ^{※1}	10年	
主要機器	タッチパネル	7年	
	プリント基板	10年	
	シーケンサ	10年	
	シーケンサ用電池	3年	
	シーケンサ用電源モジュール	7年	
	保護継電器	12年	
	充電器	10年	
	DC/DC・AC/DCコンバータ	7年	
	電動設定器	7年	
	同期装置	10年	
	遮断器交換部品(細密点検時)	12年	
	遮断器	15～18年	
	蓄電池	触媒栓	5年
		鉛蓄電池(HS型) ^{※2}	7年
		鉛蓄電池(CS型) ^{※2}	10年
		鉛蓄電池(MSE普通型) ^{※2}	7年
		鉛蓄電池(MSE長寿命型) ^{※2}	14年
アルカリ蓄電池 ^{※2}		12年	

※1 AVRは機種と環境により交換年数に幅があります。
 ※2 蓄電池の周囲温度が30℃以上の環境では年数が短くなることがあります。

カスタマーセンター

重電メーカーとしての100年を超える経験と技術を基に、より効率的なメンテナンスを実施します。

- 年中無休、24時間体制でお客様からの障害情報に対応いたします。
- 当社の全国サービス拠点と直結して迅速に問題解決を図ります。



リモート監視サービス



年中無休・24時間お客様納入製品に関するお問い合わせ、障害情報に対応いたします。

フリーダイヤル **0120-099-056** キューキュー コール
 ファックス **055-929-5989**
 E-mail Customercenter@mb.meidensha.co.jp





株式会社 明電舎

本社 〒141-6029 東京都品川区大崎 2-1-1 ThinkPark Tower

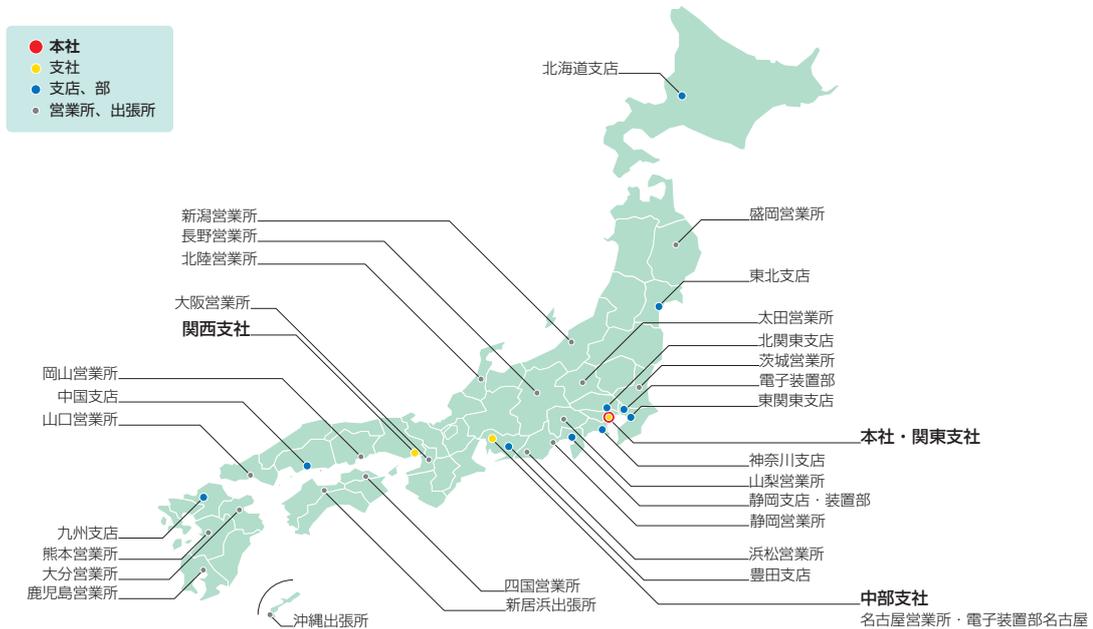
www.meidensha.co.jp



株式会社 明電エンジニアリング

本社 〒141-8607 東京都品川区大崎 5-5-5

www.meidensha.co.jp/mec/



このカタログのサービス・技術面に関するお問い合わせは

フリーダイヤル キューキュー コール
カスタマーセンター 0120-099-056 年中無休 24 時間受付
 E-mail : customercenter@mb.meidensha.co.jp



安全に関するご注意

ご使用前に、「取扱説明書」又はそれに準ずる資料をよくお読みのうえ正しくお使いください。

■仕様は機能・性能向上などのため変更することがありますのでご了承ください。

この製品に関するお問い合わせは



SA8-3013G

2022年3月現在
2022-3ME (1.55V) 1.5L